


 黒板とチョークでやる気を引き出す

第25回

レオナルド・ダ・ヴィンチの学び方

学びを広げる大切さを伝えるストーリー



大阪府堺市立鳳南小学校教諭

三好 真史

みよし しんじ 心を育てる教員サークル大阪ふくえくぼ代表。子どものやる気を引き出すストーリーを考案し、発信しています。メンタル心理カウンセラー。

四月になり、新しい学年での学習が始まり、多くの子どもたちは意欲的に学習を始めようとしています。しかし、「どうして、興味のない勉強をやらなくてはならないのか」と疑問を抱く子どもも少なからずいるものです。

偉人の学び方を通して、教養を広げようとする意欲を育むストーリーを紹介いたします。

学びたいことを知る

さて、新しい学年、新しいクラスが始まりました。今日からまた新しい勉強を始めるのですが、一つ考えてほしいことがあります。それは、「学ぶとは何か」ということです。

今日は、一人の偉人の生き方から学んでみましょう。

レオナルド・ダ・ヴィンチの学び方


さて、みなさんに、紹介したい人がいます。それは、このような絵を描いた人です。(絵の写真を貼り出す。)これは何という絵なのか、わかりますか。

そう、「モナ・リザ」です。

「モナ・リザ」は、世界で最も有名な絵画作品の一つと言われています。

これを描いた人は、レオナルド・ダ・ヴィンチです。

レオナルドは、一五世紀後半から一六世紀初めのイタリアの画家でした。しかし、ほかにもあることを得意にしていたのです。それは、次のどれでしょうか。

- 
- ① 生物学
 - ② 物理学
 - ③ 天文学
 - ④ 音楽

答えは…、なんと、すべてなのです。

レオナルドは、音楽、建築学、数学、幾何学、解剖学、生理学、動植物学、天文学、気象学、地質学、地理学、物理学、光学、力学、土木工学など、さまざまな分野に長けていました。おまけに、モデルをこなすほどの美男子。つまり、イケ

メンだったそうです。

彼は、数々の偉業を成し遂げています。望遠鏡のない時代に、太陽が動かないことを証明しました。ガリレオが地動説を唱えたのは、それから一〇〇年後のことです。

目では決して見るこのできない、渦を巻く血液をスケッチしていました。これは、二一世紀にCGによって確かめられたことです。

また、飛行機がなかったにもかかわらず、上空からの街の地図を正確に描き上げました。

こうしたことから、「万能の天才」と呼ばれていました。

しかし、レオナルドは、「万能の天才」になるために学んでいたわけではありません。

彼は、正確な絵を描くために、解剖学について学びました。解剖した人体の詳細な絵を描いています。教皇レオ一〇世に解剖を禁止されるまでの二〇年間で、三〇体近い死体を解剖し、七五〇枚近い素描を遺しているのです。

正確な背景を描くために、建築学も学びました。その学びは、軍事技術を考案したり、街の設計をしたりできるレベルにまで達しました。

そうやって、興味を持つ分野を広げていった結果、それぞれの分野に秀でる「万能の天才」となることができたのです。

関心を広げる学び方

みなさんも、まずは、自分が「これはおもしろい」と思ったものから興味を広げてみましょう。

学校では、さまざまな勉強をします。あなたにとって、おもしろいものもあれば、今はまだぜんぜん興味のないものもあることでしょう。

でも、例えば、社会科に興味を持てば、ほかの国に関心を持つ。すると英語を学びたいと思うようになる。日本の歴史上の人物に興味を持つ。当時の言語が知りたくなる。すると、国語を学びたくなる。貿易上の数値に関心を持つ。そこから、算数や数学を学んでみようとするようになる。そういう感じでよいのです。

学びというのは、どの教科でも、どこかでつながっているもの。そして、学んだことは、あなたの将来の活動につながり、きつと役に立つことでしょう。

レオナルドのように、枝葉が広がるように、学びをつなげていきましょう。まずは、自分が興味を持つ勉強から始めて、学びを広げていきましょう。

【解説】

レオナルド・ダ・ヴィンチは、既習の知識と関連づけながら学びの幅を広げていったとも言えます。これは、学習指導要領で目指している「深い学び」に近いものがあります。学び方のモデルとして示すことは、大きな意味があると思います。

レオナルドには、さまざまな逸話が残っています。例えば、鏡文字を書いていました。理由は「手稿が読みとられないようにするため」とか「そもそも教育を受けていないため」などと考えられています。興味を持たせるためにも、いくつかの裏話を紹介するのもよいでしょう。